

事務事業評価表 平成22年度

政策 環境と調和する都市の構築  
 施策 人と地球にやさしい環境の創出  
 基本事業 地球環境保全への取組

事業名 **公共街路灯 LED化事業**

[0920]

部名	生活環境部	事業開始年度	平成21年度	実施計画事業認定	非対象
課名	市民生活課	事業終了年度	平成22年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	(誰、何に対して事業を行うのか) 公共街路灯
意図	(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 環境負荷の高い水銀灯を、現在最も照明効率が高いLEDを使用した灯具へ交換することにより環境や経済効果を図る。
手段	(事務事業の内容、やり方、手段) 水銀灯をLED照明へ更新

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度当初
対象指標1	公共街路灯数	基			5	3,747
対象指標2						
活動指標1	LED照明への更新灯数	基			5	47
活動指標2						
成果指標1	二酸化炭素の削減量	t-CO2/年			1	9
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	0	0	2,790	26,689
正職員人件費 (B)		千円	0	0	830	1,666
<b>総事業費 (A) + (B)</b>		千円	0	0	3,620	28,355

費用内訳	
21年度	工事請負費 2,790千円

## 事業を取り巻く環境変化

事業開始背景		事業を取り巻く環境変化	
--------	--	-------------	--

### 21年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

- 義務的事務事業
- 妥当である
- 妥当性が低い

理由・  
根拠は？

街路灯をLED化することは市民への環境意識の向上に最適である。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

- 貢献度大きい
- 貢献度ふつう
- 貢献度小さい
- 基礎的事務事業

理由・  
根拠は？

自然環境への負荷がもっとも少ないLEDを使用する灯具へ更新することにより環境負荷の低減に対する取り組みを啓発することができる。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

- あがっている
- どちらかといえばあがっている
- あがらない

理由・  
根拠は？

計画全体の1割を実施ではあるが、市民の利用頻度の高い区間での設置により環境に対する意識付けとなるとともに、概ね1の地球温暖化効果ガスの減少が見込まれる。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

- 成果向上余地 大
- 成果向上余地 中
- 成果向上余地 小・なし

理由・  
根拠は？

現時点において、最も省エネとされる方式を採用するため向上の余地はない。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

- ある
- ない

理由・  
根拠は？

LEDを使用した街路用灯具の普及や技術革新により価格が減少しており使用する灯具の選定等によりコストを削減することが可能である。